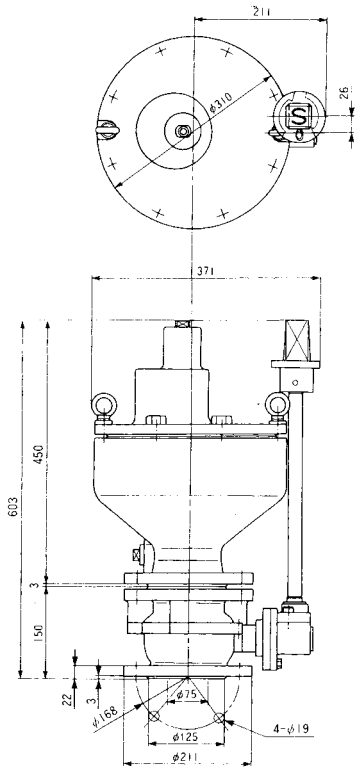


エアエース(汚水・汚泥用空気弁)

外形寸法



特長

流体の噴き出しがないので衛生的

確実に空気層を保つ構造となっていますので、充水時及び圧力下排気時でも汚泥の噴き出しがありません。

エアエースの周囲は常に衛生的です。

脈動に強い

ポンプの近くでは、脈動の影響を受け易く、最悪の場合汚泥の噴き出しも考えられます。

エアエースは、フロートとリンク装置をロープで連結しています。脈動によりフロートが上下動してもロープのたるみがこの動きを吸収し、通気口が開かないため確実に空気層を保ちます。

優れた耐蝕性

エアエース本体はエポキシ樹脂粉体塗装を施してありますので、汚泥が付着しにくく、清掃も簡単です。

また、主要機能部分はステンレス鋼を使用し、確実な作動と永年の耐久性を有しています。

コンパクト設計

管路は地中に埋設される場合が多いため、高さを低くしています。

操作しやすい副弁

副弁はボール式で操作軸はエアエースの高さに合わせましたので、地上から簡単に操作できます。

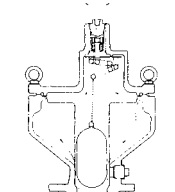
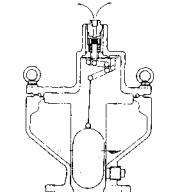
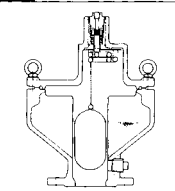
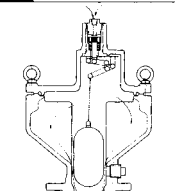
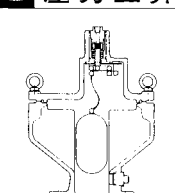
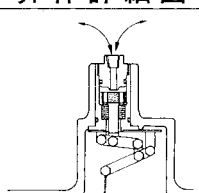
標準仕様

呼び径	φ75mm
接続フランジ	JIS G 5527 2種(7.5K)
最高使用圧力	0.75Mpa
試験圧力	1.75Mpa
塗装	エポキシ樹脂粉体塗装 膜厚:内面/0.3mm~1.0mm, 外面/0.15mm以上 ※但し、ステンレス部は無塗装

価格

本体 75	278,000
ボール式副弁 (キャップ式)	105,200
SUSボルト	5,400
計	388,600

動作

1 排気  <p>管路内に充水中は、空気弁内に水が入っていないためフロートの自重により弁体は下降しています。つまり、通気口を開放状態として、管路内の空気を排出することにより、充水効率を高めています。</p>	4 圧力下排気  <p>流体に含まれている空気やガスが空気弁内にたまると水位が低下し、フロートの自重により通気口を開き排気します。排気が完了すると水位が上昇し(フロートも上昇)通気口を閉じます。この動作を自動的に繰り返して管路内の空気やガスを常に排気します。</p>
2 充水完了  <p>管路内が充水されると、フロートが浮きます。フロートが浮くと、スプリングの力によって弁体が上昇し、通気口を閉じます。但し、空気弁内には空気が残っているため、リンク部や通気口部は接水しません。</p>	5 吸気  <p>管路内の水を抜くときは、空気弁内の水位が低下しフロートが下降することにより、通気口を開き空気を吸入します。この動作により管路の排水作業の効率を高めるとともに、管が負圧によって破壊する事故を防止します。</p>
3 圧力上昇  <p>充水が完了し、実運転になると圧力が上昇します。空気弁内に残った空気は、圧力によって圧縮されるため、水位は上昇しますが、リンク装置や通気口は接水しないように設計されています。この状況でリンク装置とフロートを連結しているロープはたるみを生じているため、もしポンプによる脈動が生じても通気口は開きません。確実に空気層を保ち流体を遮断します。</p>	弁体詳細図 

質量(kg)

エアエース 本体	42
ボール式副弁 (キャップ式)	25